

2024 教室・講座・イベントの成果報告

主催者名	環境・エネルギー学校派遣事業～かながわ環境教室(横浜市立鶴見小学校)			
題名・副題	人工の雲をつくろう			
月日・時間	2024年10月29日(火) 14:30～15:30			
開催場所	横浜市立鶴見小学校・理科室			
部会・講師名	水・大気部会 大岩俊雄	参加数	34名	講師数 6名
写真・画像	 <p>段ボール空気砲の発射実験を体験</p>  <p>ペットボトルでの雲の作り方を説明</p>  <p>人工の雲ができたよ！</p>  <p>ペットボトルを使った浮沈子作りも体験</p>			
成果解説	<p>この教室では、地球の水環境の理解を深め、水の大切さを学び、「人工の雲」を作る実験を楽しみます。横浜市立鶴見小学校の「クラブ活動(4～6年生)」34人を対象とした授業です。</p> <p>始めに、生物と水、地球が液体の水を表面に持つ唯一の惑星であること、生物の生存に水が必須であることをクイズ形式で導入、地球が特別な存在であることも解説しました。続いて、空気砲の発射実験を体験しました。さらに、地球上の水循環の説明と海水を淡水化するうえでの雲の役割を説明し、海、地下水、氷河などの形態や陸上の生物が必要な淡水が限られていることを解説しました。</p> <p>「人工の雲作り」では、実験の前に、雲について詳しく解説、雲ができるために必要なものは何かを説明しました。続いて児童が持参したペットボトルの中に雲を作る実験を行いました。その際、ペットボトルに線香の煙を入れる理由や断熱膨張によって雲ができることを説明しました。最後に、ペットボトルを使った浮沈子作りを体験し、「パスカルの原理」との関係性を説明しました。教室の最後に、授業を振り返り、まとめを行いました。</p>			